

1年組 学級活動年間指導計画

小学校

保護者が加わることで「子どもたちが親しみ合いながら楽しい学級活動」になると思われる保護者の回答率
保護者として参加・協力できそうな保護者の回答率

月	時数	%	%	No	議題名 題材名	目 標	予想される活動例	児童からの要望
4月	4			1	どうぞよろしくのかい	みんなが仲良くできるように自分の名前や好きなことが紹介できるようにする	自分の名前や好きなこと、家族のことなどを発表し合う。	
				2	がっこうをめぐろう	学校にはいろいろな部屋があることがわかり、一人でも行けるようにする。	校内めぐりの順序や見学の態度などについて話し合う。	
				3	たのしいきゅしょく	給食の準備、後始末、給食の仕方が分かり、なごやかに食事ができる。	楽しくおいしい給食にするにはどうしたらしいか、話し合う。	
				4	がっこうのきまりってなに？	廊下は静かに右側を歩くことを理解し実践できる。登下校の約束を守ることができる。	学校にはいろいろな決まりがあることを知り、正しく廊下を歩いてみる。	
5月	3			5	たのしいえんそく	遠足のめあて、目的地、コースを理解し、約束やゲームについて話し合える。	遠足の全体計画を確認し、楽しい遠足にするための約束を話し合う。	
				6	みんなのかかり	クラスにはいろいろな仕事があることに気づき、係の仕事を分担することができる。	クラスにはどんな仕事があるか話し合い、係の種類を決める。	
				7	てあらいくつたいせつだよね	自分の手の汚れがわかり、きれいに手洗いができる。	どうして腹痛を起こしたのか考えるとともに、手洗いの練習をする。	
6月	4			8	はをみがこう	歯の大切さを知り、虫歯にならないように正しい歯の磨き方を覚え、実践できるようにする。	歯の大切さを知り、上手な磨き方を知り、実践する。	
				9	雨の日をたのしく	雨の日に室内で楽しく安全にできる遊びをみんなで工夫することができる。	教室内での過ごし方について考え、雨の日の遊びを話し合う。	
				10	プールがはじまるよ	プール使用の決まりを理解し、楽しく参加しようとする気持ちをもつことができる。	実際にプールに行き、動作化しながら決まりを確認する。	
				11	あさとかえりの会をたのしく	みんなで相談しながら会の内容について決めることができる。	みんなで会の内容について話し合い、必要な係を決め、分担する。	
7月	3			12	たなばたかざりをつくろう	楽しい七夕飾りを作るため、アイデアを出し合い、飾り作りの仕事を分担できる。	願いが届くためには、どんな飾りを作つたらよいか、話し合う。	
				13	さそいにのらない	自分達の身を守る方法について知り、生活中で生かすことができる。	知らない人に声をかけられたとき、どうすればよいか話し合い、動作化する。	
				14	もうすぐなつやすみ	初めて迎える夏休みについて学校の決まりを知り、自分のめあてをもつことができる。	長い夏休みを楽しく過ごすための計画を考え、自分のめあてを決める。	
9月	3			15	たのしいかかりをきめよう	1学期の係を振り返り、2学期の新しい係を決め、学級生活を自分たちで向上させる。	1学期の反省をもとに、必要な係を決める。	
				16	たのしいうんどうかい	みんなが決まりを守り、種目を考え、参加意欲を高めることができる。	出場するとき、応援するとき、どうしたらしいか話し合う。	
				17	わすれもの0をめざそう！	忘れ物をしないためにはどうしたらよいか、その方法を考え、実践できる。	忘れものをするのはどんな時か話し合い、その原因を考える。	
				18	目をたいせつに！	目の大切さを知り、正しい姿勢や目の休ませ方が分かる。	目が悪くならないように、どんなことに気をつけたらよいか話し合う。	

保護者が加わることで「子どもたちが親しみ合いながら楽しい学級活動」になると思われる保護者の回答率
保護者として参加・協力できそうな保護者の回答率

月	時数	%	%	No	議題名・題材名	目 標	予想される活動例	児童からの要望
10月	4			19	たのしいとしょかん	図書館の本について、正しい借り方、返し方ができる。	台本版の意義と使い方を知り、本の借り方、返し方について練習する。	
				20	たのしいりょうこう	旅行のめあて、コースを理解し、約束やゲームを話し合う。	旅行の全体計画について確認し、楽しい旅行にするための約束を話し合う。	
				21	なかよしポストをつくろう	みんなの意見を入れるポストづくりの計画を立てることができる。	どんなことを書いて入れるか話し合い、ポストの置き場所を考える。	
11月	4			22	おもしろい本どんな本	面白かった本や楽しかった本について紹介し合う計画を立てる。	面白かった本をどのような方法で紹介するか、考え決める。	
				23	うがいでかぜよぼう	うがいの大切さがわかり、正しいうがいのやり方を知ることができる。	かぜを予防する方法としてうがいの正しいやり方を知り、練習する。	
				24				
12月	3			25	ころがしドッジボール大会	みんなが楽しく参加できるよう、計画を立てることができる。	全員が楽しく参加できるためのルールやチームを決める。	
				26	おこづかいどうつかう	無駄遣いをしないで、我慢したり、計画的に使ったりできるようにする。	お金の使い方を発表し合い、どんな使い方をするといいのか考える。	
				27	おたのしみ会のけいかく	計画に従って、みんなが協力し合いながら、楽しい会を行う。	計画を立て、お楽しみ会を開く。一言感想文を書いてまとめる。	
1月	2			28	くふうしたかかり	2学期の係を振り返り、新しい係を決め、学級生活を自分たちで向上させる。	2学期の反省をもとに、必要な係を決める。	
				29	飛びだしません	飛び出しの危険について知り、安全確保について具体的に学ぶ。	飛び出し事故防止を話し合い、実際に道路横断の練習をする。	
2月	2			30	ありがとう！6年生	お世話になった6年生に感謝の気持ちを表す方法を考える。	お礼や卒業のお祝いについて話し合い、発表の仕方を考える。	
				31	わたしの命だれのもの	自分の誕生を喜んでくれた人々に感謝し、生命の尊さに気づく。	お母さんや周囲の人々への感謝の気持ちを手紙に書く。	
3月	3			32	おじさん、おばさんありがとうございます	お世話になった人々のことを考えて、感謝の気持ちをもつ。	感謝の気持ちの表し方を考え、話し合う。感謝の気持ちを伝える。	
				33	ありがとう、さよなら1年生	入学してからの1年間を振り返り、できることを考え、実践する。	1年生の終了式まで自分たちでできることを考え、一人一人が実践する。	
				34	たのしい春休みにしよう	春休みのめあてを決め、2年生になる心構えをもつことができる。	春休みに気をつけたいことを話し合い、計画を立てる。	

以上その他、保護者として参加・協力できる内容

2年組 学級活動年間指導計画

小学校

保護者が加わることで「子どもたちが親しみ合いながら楽しい学級活動」になると思われる保護者の回答率
保護者として参加・協力できそうな保護者の回答率

月	時数	%	%	No	議題名 題材名	目 標	予想される活動例	児童からの要望
4月	4			1	ゆけ！ゆけ！2年生	2年生になった喜びを発表し合い、これから の生活に期待感をもつことができる。	2年生になった喜びを話合い、学習・生 活における自分のめあてをもつ。	話合い 係活動 集会活動
				2	そうじどうするの	分担場所や掃除の仕方を知り、実践的態度を 身に付けることができる。	分担場所を決める 各分担を決める	
				3	かかりをきめよう	良い学級をつくろうとする意識をもち、自分 の選んだ係に責任をもつことができる。	どんな係が必要か話し合う。 誰がどの係になるか話し合う。	
				4	たのしいりょこう	旅行のグループ作りとグループでの過ごし方 の計画を立てる。	みんなが楽しめる旅行での遊び方やグル ープ分けを話し合う。	
5月	3			5	大きくなる体	健康診断を行う目的や正しい受け方が分かり、 自分の健康に関心をもつ。	自分の体の成長を知る。 病気の経験を発表する。	
				6	正しい道の歩き方	通学路には危険な場所があることを知り、安 全な登下校の仕方が分かる。	通学路には、どんな危険な場所があるか、 思い起こす。 安全な歩行の仕方を話し合う。	
				7	本のかり方・かえし方	本の貸し借りなど上手な利用法を知り、進ん で図書室を利用しようとする。	図書室利用の様子を思い出す。 図書室の決まりについて話し合う。	
6月	4			8	元気なあいさつ	あいさつの大切さが分かり、毎日きちんとあ いさつすることができる。	あいさつの必要な場面を知る。 あいさつを仕合、そのときの気持ちを話 し合う	
				9	きまりをまもってたのしい水えい	水の事故のこわさを知り、約束を守って安全 な水泳ができるようにする。	水の事故の原因を考える。 プールや海での決まりや約束について話 し合う。	
				10	はみがきをしよう	虫歯を予防するために、正しい歯磨きの方法 を覚えて、歯を磨く。	虫歯調べをし、虫歯になるわけを考える とともに、歯磨きの練習をする。	
				11	たのしい雨の日のあそび方	室内での休み時間の過ごし方を考え、安全に 楽しく遊べる遊びを見つける。	雨の日の遊びで困るのはどんなことか話 合い、楽しく安全に遊べる遊びを考える。	
7月	3			12	たのしい七夕まつり	全員が意欲的に参加できるような七夕飾りの 計画を立てる。	役割分担を決める。 七夕飾りの工夫を考える。	
				13	たのしい夏休み	規則正しい生活を送ることの大切さを知り、 学習・健康・安全について考える。	夏休みの過ごし方について話し合う。 夏休みの計画表を書く。	
				14				
9月	3			15	思い出の夏休み	夏休みの生活を振り返り各自の思い出を発表 することができる。	休み中の出来事や発見したことがんばっ たことなどを皆の前で発表する。	
				16	わたしたちがつくる運動会	一人一人がめあてをもち、みんなで盛り上げ ようという気持ちを抱くことができる。	運動会でのいろいろなことを思い出して、 自分のめあてをもつことができる。	
				17	きれいな体	体の汚れやすいところを知り、清潔に心がけ ることができる。	体で汚れやすいところはどこか話合い体 を清潔にしておく方法を話し合う。	

**保護者が加わることで「子どもたちが親しみ合いながら楽しい学級活動」になると思われる保護者の回答率
保護者として参加・協力できそうな保護者の回答率**

以上その他、保護者として参加・協力できる内容

月	時数	%	%	No	議題名・題材名	目 標	予想される活動例	児童からの要望
10月	4			18	えんびつくんどうしたの	落とし物の実態を知ることにより、ものを大切にしようとする気持ちをもつ。	落とし物の実態を知り、落とし物をなくすためにはどうしたらよいか話し合う。	
				19	すききらいなんてないよ	好き嫌いなく食べることの大切さを知り、なんでも食べようとする。	好き嫌いの実態や偏りのない食事のよさを知る。丈夫な身体を作るために、めあてをもつ。	
				20	かかりをくふうしよう	学級全体の立場に立ち、みんなの願いを生かすよう工夫しながら係活動することができる。	日頃の活動を発表する。係活動が生活向上に役立つことを確認し、さらに工夫するところを話し合う。	
				21	気もちよく食べよう	一人一人が衛生に気を付け、清潔な環境の中で給食を実施することができる。	普段の給食の様子を振り返る。 教職ではどんなところに気を付けたらよいか話し合う。	
11月	4			22	かぜをひかないくふう	かぜの予防を知り、日常生活の中で実践することができる。	かぜの症状や原因について話合い、自分が続けて実践していくことをカードに書く。	
				23	本あてクイズ大会	これまで読んだ本の中で楽しかったものを選び、クイズ大会の準備をする。	紹介したい本を決める。 題名当てのヒントをクイズ形式に書く。	
				24				
				25				
12月	3			26	楽しいあそびの計画を立てよう	みんなが楽しく遊べるものを考え、1時間以内で行える遊びを計画できる。	どんな遊びがよいか話し合う。 準備や役割分担を決める。	
				27	お年玉、どうつかう	お正月を間近に控え、お年玉の上手な使い方について考えることができる。	お年玉アンケートを実施する。 使い方について話し合う。	
				28	もうすぐ冬休み	年末年始の行事への参加の仕方を理解し、礼儀正しい生活をしようとする。	冬休みの過ごし方について考える。 応接の仕方を考える。	
1月	2			29	災害があきたらどうするの？	避難訓練の必要性を知り、安全にすばやく避難することの大切さを理解できる。	地震や火事の恐ろしさを知る。 場に応じた避難の仕方を話し合ったり、練習したりする。	
				30	ゆうぐの楽しい使い方	運動施設の正しい使い方を知り、けがのないように遊ぶことができる。	運動場でのけがの経験を話し合う。 正しい使い方を知り、遊ぶ。	
2月	2			31	子どもはかぜの子	寒い日の外での運動の効果について知り、実践していこうとする。	暖房が入ってからの内と外での過ごし方を話し合う。努力事項をカードに書く。	
				32	お父さん お母さん	父母の役割の違いや助け合って生活していくことが分かり、男女仲良くする。	父母の家庭内の仕事や役割、自分が大人になったらしようと思うことを話し合う。	
3月	3			33	ありがとう・さよなら2年生	思い出に残る楽しいお別れ会にするために、みんなで工夫して会の計画を立てる。	お別れ会にふさわしいプログラムを考える。	
				34	もうすぐ3年生	この1年間を振り返り、3年生になるための心の準備をすることができる。	どんな3年生を目指したいか、カードに書く。	
				35				

以上その他、保護者として参加・協力できる内容

--

3年組 学級活動年間指導計画

小学校

保護者が加わることで「子どもたちが認め合いながら楽しい学級活動」になると思われる保護者の回答率
保護者として参加・協力できそうな保護者の回答率

月	時数	%	%	No	議題名 題材名	目 標	予想される活動例	児童からの要望
4月	4			1	めざせ！！3年生	進級の喜びを発表し合い、今年のめあてを考え、期待感をもつことができる。	3年生になった喜びを話合い、学習・生活における自分のめあてをもつ。	話合い 係活動 集会活動
				2	クリーン大作せん	分担場所や掃除の仕方を知り、実践的態度を身に付けることができる。	掃除の必要性を話し合う。 掃除分担を決め、きれいにするための方法を話し合う。	
				3	わたしの係あなた の係	良い学級をつくろうとする意識をもち、自分の選んだ係に責任をもつことができる。	どんな係が必要か話し合う。 係の分担をし活動計画を話し合う。	
				4	楽しい旅行	旅行のめあてや目的地を知り楽しい旅行にするための約束について話し合う。	旅行のコースを知り、目的地やバスの中での約束について話し合う。	
5月	3			5	みんななかよし	仲間はずれをしないで友だちの気持ちを考え、あたたかい人間関係をつくる。	仲間はずれをせず、友だちと仲良くするにはどのようにしたらよいか話し合う。	
				6	安全だよね登下校	自分たちの登下校のようすをVTRを見て反省し、安全な登下校を実践する。	安全な登下校はどんなことに気を付けばよいか話し合う。	
				7	わたしたち図書室	図書室の上手な利用法を知り、本の正しい扱い方を身に付けることができる。	図書室の決まりについて話し合い、本の正しい扱い方を練習する。	
6月	4			8	あいさつって楽し いね	あいさつや言葉づかいの大切さが分かり、あいさつや言葉づかいが正しくできる。	正しいあいさつやでいねいな言葉づかいについて話し合う	
				9	家庭学習をしよ う	家庭学習について反省し、自分にあった家庭学習の計画を立て、自主的に学習する。	家庭学習をよりよくするためにどのようにしたらよいか話し合う。	
				10	歯を大切にしよう	虫歯になるわけを知り、予防する方法を考えることができる。	虫歯になるわけを考え、虫歯にならないための方法について話し合う。	
				11	雨の日を楽しく	室内での休み時間の過ごし方を考え、安全に楽しく遊べる遊びを見つける。	雨の日のけがの原因を見つけ出し、楽しく安全に遊べる遊びを話し合う。	
7月	3			12	お楽しみ会の計 画	一人一人のアイデアを生かし、楽しい会でできるように計画を立てることができる。	どんな内容にするか話し合い、順序、やり方、係を決める。	
				13	楽しい夏休み	安全で楽しく充実した夏休みを過ごせるよう計画を立てる。	夏休みの過ごし方について話し合う。 夏休みの計画表を書く。	
				14				
9月	3			15	わたしがめざす2 学期	1学期の学校生活や夏休みの生活を反省し、2学期のめあてを考え、実践する。	1学期を反省し、2学期のめあてを考え、具体的な努力目標を立てる。	
				16	わたしの係あなた の係	1学期の係活動を反省し、よりよい学級にするために必要な係を再検討する。	1学期の係活動を反省し、2学期のめあてを考え、具体的な努力目標を立てる。	
				17	目を大切にしよう	目の大きさを知り、近視を防ぐ方法を知り、実践することができるようとする。	近視の予防について考え、これから心がけることを決める。	
				18				

**保護者が加わることで「子どもたちが認め合いながら楽しい学級活動」になると思われる保護者の回答率
保護者として参加・協力できそうな保護者の回答率**

月	時数	%	%	No	議題名・題材名	目 標	予想される活動例	児童からの要望
10月	4			19	ドッジボール大会の計画	学級一人一人が互いに認め合い、助け合いながら楽しくやれる大会を計画する。	仕合のチームを決める。 どんな係が必要か話し合う。	
				20	楽しい食事	楽しい気持ちで食べることの大切さが分かり、好き嫌いなく何でも食べようとする。	バランスの良い食生活をおくるにはどうしたらよいか話し合う。	
				21	大事だね命	ヘその役割を通して、親子のつながりを理解し、生命の尊さに気づくことができる。	おへそを通して育ててもらったことを感謝し、母親への手紙を書く。	
11月	4			22	楽しい読書発表会の計画	たくさんの本を読んで、みんなで楽しく発表会ができるように、計画を立てる。	仲良く参加できるよう、グループや係を決める。	
				23	かぜにかつ運動	運動の必要性を知らせ、かぜ予防の習慣を身に付けることができる。	かぜを予防するためにどんな運動をしたらいつか考える。	
				24				
12月	3			25				
				26	お金の使い方	お小遣いや、お年玉の上手な使い方について考えることができる。	お小遣いや、お年玉の上手な使い方について話し合う。	
				27	お楽しみ会の計画	一人一人の工夫やアイデアを生かし楽しい会ができるように計画を立てる。	どんな内容にするか話し合い、順序、やり方、係を決める。	
1月	2			28				
				29	わたしの係あなたの係	2学期の反省を生かし、クラスのために自主的に活動できるように係を決める。	反省をもとに活動内容を確認して、3学期の係を決める。	
2月	2			30	じょうぶなからだづくり	じょうぶな体を作るための計画を立て、実行することができる。	外でどんなことができるか話し合い、これから外でどんな運動をするか決める。	
				31	みんなで使うものって大切?	公共物があるわけを知り、公共物を大切に扱うことができる。	みんなの公共物の使い方の実態について話し合う。	
3月	3			32	クラブに入ろう	クラブを見学するときの心構えについて話し合い、見学にのぞむ。	見学するときはどんなことに気を付けたらよいか話し合う。	
				33	ありがとう3年生	3年生最後のお楽しみ会としてみんなが楽しくできるように手順や分担を決める。	どんな内容にするか話し合う。 必要な係を決める。	
				34	未来へ、そして4年生	1年間の成長のあとを確かめ合い、4年生の心構えと準備ができる。	4年生へ進級する気持ちを話合い、抱負や希望を発表する。	
				35				

以上の他、保護者として参加・協力できる内容

--

4年組 学級活動年間指導計画

小学校

保護者が加わることで「子どもたちが認め合いながら楽しい学級活動」になると思われる保護者の回答率
保護者として参加・協力できそうな保護者の回答率

月	時数	%	%	No	議題名 題材名	目 標	予想される活動例	児童からの要望
4月	4			1	めざせ！！4年生	4年生なった喜びを発表し合い、自分なりのめあてをもつことができる。	4年生になった喜びを話合い、学習・生活における自分の中のめあてをもつ。	話合い 係活動 集会活動
				2	私たちの朝の会と帰りの会	みんなで意見を出し合い、朝の会と帰りの会の実践計画を立てることができる。	朝の会と帰りの会で取り上げる内容について話し合う。	
				3	プラン・ザ 係1学期	自主的な係活動ができるように手立てを考え、話し合うことができる。	どんな係が必要か話し合う。 係の組織と分担、係の計画を立てる。	
				4	楽しい旅行	グループや約束を決めながら安全で楽しい旅行の計画を立てることができる。	みんなが楽しめる旅行にするための約束やグループ分けを話し合う。	
5月	3			5	デザインしようクラスのはた	みんなの願いが込められた学級旗を作ることができる。	みんなの願いをもとに、旗のデザインを考え、意見を出し合い決める。	
				6	ストップ・ザ・自転車事故	自転車の構造、点検の仕方を理解し、安全な乗り方ができる。	点検整備の仕方や安全走行の基本練習をする。	
				7	図書室ってべんりだね	学校図書室の決まりを知り、進んで利用する意欲をもつことができる。	図書室のきまりや施設の配置を知り、効果的な利用方法を工夫する。	
6月	4			8	情報と私たち	テレビや雑誌などの情報について考え、正しい情報の選択ができる。	よく見るテレビや雑誌等の情報と自分たちのかかわり方について話し合う。	
				9	楽しく安全な水泳	水の事故のこわさを知り、約束を守って安全な水泳ができるようにする。	水の事故の原因を考える。 安全で楽しい水泳について話し合う。	
				10	歯を大切にしよう	虫歯のでき方と虫歯の進み方を知り、虫歯を防ぐ方法を考える	虫歯調べをし、虫歯になるわけを考えるとともに、歯磨きの練習をする。	
				11	雨の日を楽しもう	室内での休み時間の過ごし方を考え、安全に楽しく遊べる遊びを見つける。	雨の日の遊びで困るのはどんなことか話し合い、楽しく安全に遊べる遊びを考える。	
7月	3			12	何でも食べる子元気な子	栄養と成長の関係を知り、好き嫌いしないで何でも食べることができる。	嫌いな食べ物について話し合い、栄養と成長の関係を知り、好き嫌いをなくす。	
				13	楽しい夏休みの計画	夏休みの意義を考え、安全で楽しく過ごせる夏休みの計画立案ができる。	夏休みの意義を話し合う。 自分の課題を決め、生活プランを立てる。	
				14	学級活動コーナーで学級づくり	学級での自主的な運営ができるよう、役立つコーナーの設置を考えることができる。	学級活動コーナーを有効に活用するための場所、書き方、貼り方について話し合う。	
9月	3			15	スピード避難	学校での地震や火災発生を想定して、安全に機敏に避難できる方法を知る。	安全な避難の仕方を知る。 避難の仕方を練習する。	
				16	プラン・ザ 係2学期	1学期の反省をもとに、より自主的な活動ができるような係を決めることができる。	1学期の反省をもとに、係を決める。 分担や活動計画の相談	
				17	ストップ・ザ忘れ物	忘れ物をすると困るし、迷惑がかかることに気づき、忘れ物をなくす工夫ができる。	忘れ物の理由を考え、なくすための方法を話し合い、実践する	
				18				

保護者が加わることで「子どもたちが認め合いながら楽しい学級活動」になると思われる保護者の回答率
 保護者として参加・協力できそうな保護者の回答率

月	時数	%	%	No	議題名・題材名	目 標	予想される活動例	児童からの要望
10月	4			19	新聞コンクールをしよう	みんなで協力しあい、新聞をつくり、コンクールの計画を立てることができる。	グループ発表の仕方やどんな係や賞を作れるか話し合う	
				20	かがやきある目を守ろう	目の病気とその原因が分かり、日常生活の中で進んで予防に努めることができる。	目の病気の種類、症状、原因について知り、その予防方法について話し合う。	
				21	わたしたちの読書発表会	心に残った一冊を紹介し合い、読書発表会の計画を立てることができる。	発表会の形式を話し合う。 どんな係や準備が必要か話し合う。	
11月	4			22	気持ちのよいあいさつ	きちんとしたあいさつ、時と場に応じた言葉遣いの必要性を理解できる。	礼儀正しいあいさつ、ていねいな言葉遣いについて話し合い実践する。	
				23	楽しむハンドベースボール大会	みんなが楽しめるチーム作りをし、大会がスムーズにいくよう計画を立てることができる。	みんなが楽しめるチーム作りルールや係を話し合う。	
				24	わたしの家庭学習	家庭学習を反省し、4年生としての勉強法を考え、学習計画を立てることができる。	家庭学習の必要性を知り、学習計画を立てる。	
12月	3			25	かぜにも負けず 寒さにも負けず	寒さに負けず体を鍛える必要性を知り、進んで体力作りができる。	暖房した室内に閉じこもる弊害を話し合い、自分にあった体力作りの計画立案。	
				26	ありがとう給食	給食に関係する人々の苦労を知り、感謝の気持ちを表すことができる。	給食に関係する人々の苦労を知り、感謝の気持ちの表し方を話し合う。	
				27	お楽しみ会の計画	2学期のまとめとしてのお楽しみ会が開けるように計画を立てることができる。	個々の考えを出し合って、内容について話し合う。係や準備について決める。	
1月	2			28				
				29	プラン・ザ 係3学期	2学期の係活動を反省し、よりよい学級にするために必要な係を再検討する。	1学期の反省をもとに、係を決める。 分担や活動計画の相談	
2月	2			30	マネープラン	貯金の必要性を知り、お小遣いを計画的に使えるようにする。	おこづかいの使い方を反省しこづかい帳のつけかたを考え、練習する。	
				31	思い出の学級文集	4年生の思い出に残る文集作りの計画を立てることができる。	ふさわしい題名を考える。 文集の内容について意見を出し合う。	
3月	3			32	男の子・女の子	男女の心身の特徴に気づき、互いの立場を理解し、思いやりをもって行動できる。	男女の長所・短所、及び特徴を考え、助け合って生活することを話し合う。	
				33	ありがとう・さよなら4年生	4年生最後の集会として、お別れ会の計画を立てることができる。	楽しいお別れ会にするための内容や係を決める。	
				34	未来へ、そして5年生	1年間の反省をし、5年生への希望をもつことができる。	1年間の上達を振り返り、5年生になつたらがんばりたいことを考える。	
				35				

以上その他、保護者として参加・協力できる内容

5年組 学級活動年間指導計画

小学校

保護者が加わることで「子どもたちが練り合いながら楽しい学級活動」になると思われる保護者の回答率
保護者として参加・協力できそうな保護者の回答率

月	時数	%	%	No	議題名 題材名	目 標	予想される活動例	児童からの要望
4月	4			1	レッツゴー5年生	5年生らしい学級目標を決め、価値ある生活を送ることができる。	どんな学級にしたいか話し合い、学級目標と個人目標を立てる。	話し合い活動 係活動 集会活動
				2	クリーン計画	清掃の仕方について反省し、はやく、きれいに行う態度を身に付ける。	各清掃分担毎に、仕事の内容と手順を確認し、係を分担し、活動計画を立てる。	
				3	マイジヨブ1学期	自主的な活動ができるよう手立てを考え係を決めることができる。	学級生活に必要な仕事を確認し、係を分担し、活動計画を立てる。	
				4	バスで楽しもう	バスの中でのレクレーションを進んで分担し、工夫を加える。	レクレーションの分担と、ルールを決める。	
5月	3			5	男の子女の子の成長	男女の体の発達について正しく理解するとともに、心の変化に気づく	大人に近づく男女の体や心にどんな変化が起こるか話し合う。	
				6	これで安全すばやいひなん	災害から生命を守るために知識をもち、安全に、はやく避難できる。	安全な避難の仕方を知る。 避難の仕方を練習する。	
				7	相手の立場を考えて	悪い言葉や相手を傷つける言葉をつつしみ、相手の立場になって行動できる。	けんかをした時の気持ちや解決の仕方を話し合う。	
6月	4			8	自分たちでつくる話し合い大作戦	高学年らしい話し合いの仕方で自主的に進められるような組織を作る。	話し合いの進め方を決める。 週の活動のサイクルを決める	
				9	生かせ！！資料	課題解決のために図書室やパソコン室を積極的に利用できるようにする。	効果的な利用の仕方を話し合う。 本の選択活動をする。	
				10	身の回りスッキリ	整理することの大切さを理解し、身の回りの整頓の仕方を工夫できる。	整理することの大切さとどこをどのように整頓したらよいかを話し合う。	
				11	クリーン大作戦	学級美化を各自が責任をもって実践し、環境を整える喜びを体験する。	改めると良い点を話し合い、実践する分担を決める。	
7月	3			12	マネープラン	貯金の必要性を知り、おこづかいを計画的に使えるようにする。	おこづかいを計画的に使ったり、貯金したりする方法を考え。実践する。	
				13	楽しもうみんなで	みんなで練り合いながら、楽しいお楽しみ会を行うことができる。	計画に従って役割を分担し、実践・後始末までを自分たちの手でやりとげる。	
				14	グッドな夏休みに	楽しい夏休みを送るための生活設計ができる。	めあてや実践方法を考え、自分の生活に合った計画を立てる。	
9月	3			15	2学期のライフスタイル	夏休みを反省し、充実した2学期を設計することができる。	反省に基づいて、個人の努力目標を立て実践していく方法を考える。	
				16	マイジヨブ2学期	学級をより楽しくするために係の組織を工夫して作る。	今までの係を反省し、工夫して係を決める。	
				17	ストップ・ザ薬物	学級全員が楽しいと感じられる給食の過ごし方を考える。	どのような内容にするか具体的に話し合って決める。	
				18				

**保護者が加わることで「子どもたちが練り合いながら楽しい学級活動」になると思われる保護者の回答率
保護者として参加・協力できそうな保護者の回答率**

月	時数	%	%	No	議題名・題材名	目 標	予想される活動例	児童からの要望
10月	4			19	これで安全自転車でゴー	自転車の構造、点検の仕方を理解し、安全な乗り方ができる。	安全な乗り方について話し合い、模擬道路で安全な乗り方の練習をする。	
				20	ヘルシーな目	近視の原因を知り、その予防方法を考え、実践できる。	原因について話し合い、近視を予防するための努力目標を立てる。	
				21				
11月	4			22	プチ運動会の計画	チームの協力や学級の和を深められる大会の計画が立案できる。	役割やプログラムに従って、スポーツ大会を行う。	
				23	かぜの予防	かぜの予防を知り、日常生活の中で実践することができる。	かぜの症状や原因について話し合い、予防方法をどう実践していくか考える。	
				24	読書発表会、オンラインマイステージ	今まで読んできた本の感想を、相互に発表し合う計画を立てることができる。	読書傾向を調べて反省する。発表会の内容と係を決める。	
				25				
12月	3			26	100点勉強法！	苦手な教科の原因を考え、克服するために自分にあった学習計画を立てることができる。	教科の学習方法を知り、自分にあった学習計画をたて、実践する。	
				27	何かが飛び出るお楽しみ会	みんなで練り合いながら、楽しいお楽しみ会を行うことができる	計画に従って役割を分担し、仲良く楽しく行う。	
				28	ホワイトな冬休みの計画	充実した冬休みを送るために、生活の計画を立てることができる。	どんな冬休みにしたいかを考え、具体的な計画を立てる。	
1月	2			29	マイジョブ3学期	学級をより楽しくするために係の組織を工夫して作る。	今までの係を反省し、工夫して係を決める。	
				30	クリーンアップロッカー	ロッカーの使い方を考え、いつでも整頓できる方法を考える。	使いやすいロッカーの使い方を考える。	
2月	2			31	アウトドア大作戦！	寒い日の外での運動の効果について知り、実践していこうとする。	外遊びの種類や方法を話し合う。学級やグループでの遊びを考え実践する。	
				32	パワーアップ食べ物	栄養と成長の関係を理解し、バランスの良い食生活を送ることができるようにする。	偏食をなくすにはどうしたらよいかを話し合い、各自の目標を決める。	
3月	3			33	未来・そして6年生	6年生の生活についての見通しをもち、最上級生になる心の準備ができる。	5年生の生活・学習・仕事を反省し、新たな課題を見つけることができる。	
				34	サンキュー・グッドバイ5年生	1年間の学級活動を振り返り、思い出に残るような集会を計画することができる。	集会の内容や形式を話し合い、役割を分担する。	
				35	ありがとう！6年生	6年生へ感謝の気持ちを表すことができる。	6年生へ送るものを作成と会の準備	

以上その他、保護者として参加・協力できる内容

6年組 学級活動年間指導計画

小学校

保護者が加わることで「子どもたちが練り合いながら楽しい学級活動」になると思われる保護者の回答率
保護者として参加・協力できそうな保護者の回答率

月	時数	%	%	No	議題名 題材名	目 標	予想される活動例	児童からの要望
4月	4			1	学校のリーダーとして	最上級生として協力しあいよりよい生活を築こうとする	個人・係ごとに目標を決め、6年生としでの役割を確認する。	話し合い 係活動
				2	自学のすすめ	自分にあった学習方法を見つけ、自ら進んで学習することができる。	提示された学習内容・方法を自己選択し、計画的に学習する。	
				3	グッドマイジョブ 1学期	自主的な係活動ができる手立てを考え話し合う。	学級に必要な仕事を確認し活動計画を立てる。	
				4	楽しい修学旅行	修学旅行の意義を理解し、主体的に楽しく参加することができる。	班別グループ行動のコースの話合いや集団行動の留意点を知る。	
5月	3			5	セイフティドライブ	交通ルールを守り、安全で快適な自転車の乗り方を習得できる。	事故の原因や道路標識を知り、安全な乗り方を練習する。	
				6	学級カレンダー作り	学級の出来事に関心をもち、その月にふさわしい記事や絵を表現できる。	4月の出来事を例にして各月毎に役割分担し、活動する。	
				7	楽しいよ！家庭学習	家庭学習の必要性を理解し、継続方法を工夫することができる。	家庭学習の必要性について話し合い、継続させる方法を考える。	
6月	4			8	学級新聞を作ろう	今までの記事を振り返り、さらに楽しめる記事や書き方を工夫できる。	今までの形式や内容を反省し、今後どんな学級新聞にするか話し合う。	
				9	ストップ・ザ食中毒	食中毒の起こる原因と症状について知り、食中毒を予防することができる。	食中毒の恐ろしさや起こるわけについて話し合い、予防方法を考える。	
				10	話し方大研究	相手の立場や話の内容を十分に受け止め、はつきりした対応ができる。	言葉の乱れについて考え、相手の立場を考えて話し合う。	
				11	有効な時間の過ごし方	自分の生活時間を見直し、より有効な時間の過ごし方ができる。	最近の自分の生活時間表をもとに、時間の有効な計画を立てる。	
7月	3			12	セイフティー・ロード	登下校を安全に通学するための留意点を理解し、適切な対応ができる。	通学中の「子ども安全の家」の場所や安全について話し合う。	
				13	マネープラン	目標を決めて貯金し、必要性のある買い物をする意識をもつことができる。	無駄遣いした経験の意見交換をし、必然性のある買い物や貯金について話し合う。	
				14	有意義な夏休み	小学校最後の夏休みにふさわしい充実した夏休みの計画が立てられる。	夏休みの目標や実践したいことを計画表に書き込む。	
9月	3			15	私たちの運動会！！	最高学年としての自覚をもち、積極的に進んで活動することができる。	運動会での各係の活動内容を知り、仕事の分担をする。	
				16	マイジョブ特技を生かそう	1学期の係を見直しながら自主的な活動ができるような係にする。	1学期の係の活動内容を知り、仕事の分担について話し合う。	
				17	ストップ・ザ薬物	生命誕生の神秘さと重みを知り、自他の命を尊重する意識がもてる。	薬物乱用防止の資料から、命のつながりやその大切さを話し合う。	
				18				

**保護者が加わることで「子どもたちが練り合いながら楽しい学級活動」になると思われる保護者の回答率
保護者として参加・協力できそうな保護者の回答率**

月	時数	%	%	No	議題名・題材名	目 標	予想される活動例	児童からの要望
10月	4			19	バスケットボール大会の計画	学級の和を深めるために協力して公平なチーム作りができる。	力が均等になるチームを考え、ルールについて話し合う。	集会活動
				20	読書は心の栄養	多様な読書体験方法を通して、個々の読書活動を拡大することができる。	ブックトーク等の読書活動をする。 アニメーション等の読書活動をする	
				21	インターネットは楽しいよ	個々の学習内容に必要な資料をインターネットで検索できる。	社会科の学習内容を深める資料をインターネットで検索する。	
				22	私たちのウォーキング	めあて・目的地・コースの約束について話し合うことができる。	グループ毎にコースを選択し、役割等について計画する。	
11月	4			23	よりよいリーダーになるために	リーダーとしての自分の姿を振り返り、課題を解決する。	リーダーとしての悩みを話し合い、心構えや振る舞い方を話し合う。	
				24	思い出の卒業文集作り	思い出に残る記念文集にするため、内容を検討することができる。	記載内容と執筆分担について話し合う。	
				25	かぜとインフルエンザ	かぜやインフルエンザの予防の実践的な方法を身に付けることができる。	かぜとインフルエンザの症状の違いを知り、その予防法を話し合う。	
				26	男の子って？女の子って？	異性に憧れることが人間の自然な成長過程であることを知る。	資料から異性への関心と体の発育との関係を考える。	
12月	3			27	お楽しみ会の計画	2学期のまとめの楽しい会が開けるよう計画を立てることができる。	係や準備について決めたり、運営内容の話し合いをする。	
				28	有意義な冬休み	冬休みの意義を理解し、適切な生活設計を立て実践できる。	計画表を作成し、目的や実践したことをはっきりさせる。	
				29	きたえる！	寒い日の外での運動の効果について知り、体を鍛えることができる。	マラソン・縄跳び等、運動するときのきまりについて話し合う。	
1月	2			30	学校って安全？	校舎内外の危険な場所や行動について決まりを守り安全な生活ができる。	安全に学校生活を送るための留意点を話し合う。	
				31	感謝を込めてボランティア	お世話になった北小のために、できることを考え協力して作業できる。	心のこもったボランティアを考え、作業内容について話し合う。	
2月	2			32	悩みバイバイ	みんなの悩みを知り、互いに励まし合い、自立解決する気持ちがもてる。	悩みや困っていることについて、その立場に立った解決方法を話し合う。	
				33	未来、そして中学へ	卒業までの過ごし方を考え、中学生への心構えができる。	よりよい中学生になるための留意点等について話し合う。	
3月	3			34	サンキューグッドバイ小学校	小学校生活最後の集会にふさわしい計画を立てることができる。	出し物を話し合い、思い出に残る会にするための話し合いをする。	
				35				

以上その他、保護者として参加・協力できる内容

学級活動の年間指導計画 第5学年 小学校

(1) 学級や学校の生活の充実と向上に関すること (19時間)
保護者のかかわりは、学校からの呼びかけに応じた、自主的な参画である。

<話し合い活動>

ね ら い	よりよい学級や学校生活をめざし、諸問題を取り上げて計画的に話し合い協力しながら解決し、実践することができる。学級や学校生活をより豊かにするために、建設的、民主的な話し合いの仕方を身に付け問題を解決していくことができる。					
	5年生の意識調査からの議題例					

思いやりのある楽しいクラスにしよう	よい授業態度について考えよう	かぜ予防について考えよう	楽しい勉強法を工夫しよう	身の回りの整理・整頓について考えよう	下級生の手本になろう	休み時間の過ごし方を工夫しよう	みんなが仲良くできるために	学級文庫の扱い方	係を決めよう	係活動を見直そう	掃除の仕方を考えよう	楽しい給食にしよう	楽しい旅行の計画を立てよう	読書発表会の計画を立てよう	冬の外での遊びを工夫しよう	お楽しみ会の計画
-------------------	----------------	--------------	--------------	--------------------	------------	-----------------	---------------	----------	--------	----------	------------	-----------	---------------	---------------	---------------	----------

	児童の活動		保護者のかかわり	教師の支援
議題	学級、学校の立場から議題集めの工夫をして、みんなの問題として出すことができる。 議題の条件を考え、よりよい議題を自分で選ぶことができる。	開・意・態 生活上の諸問題を進んで解決しようとする。議題に対して自分の考えをもとうとする。 思考・判断 学級や学校の生活の中から、議題を考える。 表現・技能 自分なりの考えをもち、意見を出し合うことができる。 知識・理解 学級にとって必要な議題かどうか分かる。	子級や学校生活に問題提携をする。	学級、学校生活の中から問題を見付けるようにする。 計画委員会で整理した中から、全員で議題を選定する。
計画	計画委員会などで話し合いの順序を想定して、立案、計画することができる。 議題や細案などを作成し、能率的な話し合いができる ような計画ができる。	開・意・態 積極的に発言して、よりよい計画を立てようとしている。 思考・判断 話合いの柱を考えている。 表現・技能 話し合う順序や時間配分等を決めることができる。 知識・理解 議題や提案理由と話合いの流れなどが分かる。	計画委員として計画を立てる。	話し合いのめあてや内容を決め る。 話し合いが深まるように話し合いの柱立て等の順序立てをする。
話し合い	相手の意見を尊重するとともに、自分の考えをまとめて述べることができる。 先行経験やこれまでの活動を振り返って考え、発言することができる。 会の進行に協力しながら話し合いに、参加することができる。	開・意・態 友達と協力して、話し合いを進めようとしている。 思考・判断 活動を見通した自分の考えをもっている。話し合いの過程に沿って考える。友達の考えを認めながら、よりよい解決方法や実践の方法を考える。 表現・技能 友達の立場や思いを受け止めながら聞く。 知識・理解 話合いで決まったことが分かる。 相手の意見を尊重しその内容が分かる。	議題に関し参加・協力する。	計画委員会の役割分担によつて、話し合いを進めるようにする。 議題やめあてを全員で確認する。 小集団での話し合い活動で練り上げていく。 互いのよさを生かし、みんなが喜べる活動にする。
司会	少数意見の取り扱いにも気を付けて、全員を公平な立場で指名する。 問題を正しくつかんで、意見を求めることができる。 話の内容を深め、時間配分を考えて進めることができる。	開・意・態 自信をもって、堂々と進行しようとしている。 思考・判断 司会者同士が協力し合い、能率的な進行を考えている。 表現・技能 多くの友達に発言の機会を与えるような進行を行なうことができる。 知識・理解 発言者の考えが分かる。		司会進行の手助けをしたり、助言したりする。
記録	話し合いの進行に従って、わかりやすく整理した板書ができる。 会の内容、進行状況や決まったことがわかるよううまく記録できる。	開・意・態 わかりやすく記録しようとしている。 思考・判断 記録者同士が協力し合い、能率的な方法を考えている。 表現・技能 要点をおさえ分かりやすい記録を行う。 知識・理解 記録の仕方がわかる。		記録の手助けをしたり、助言したりする。
実践・反省	決まったことの目的や内容がわかり、互いに協力して実践することができます。 計画・実践を振り返り、さらに質の高いものに発展させることができます。	開・意・態 決まったことによろこびを見出し、自己の役割を果たそうとしている。活動を振り返り、次の活動に生かす。 思考・判断 自己の役割について正しく判断する。 表現・技能 互いのよさを生かしながら、実践する。 知識・理解 決まったことが分かり、実践する。	決まったことに 関して協力する。	学級や学校が豊かで楽しくなるように働きかける。 みんなのよさが生かされ、喜びが溢れる実践となるようにする。 振り返りを通して、よりよく改善する。

<係活動>

ね ら い	学級全体の生活の充実と向上という立場から計画、実践、改善、工夫が進んでできる。 特徴や特性を生かし、連絡や協力をし合いながら役立つ仕事を根気強くできる。						
	学級生活を豊かにする係を、経験や記録をもとにしてつくる。 個人の特性を生かしながら、係の分担を決め、進んで活動する。 男女混合の係とし、仕事を分担する。						
組織	リーダーを中心にして、他の係や学級全体のことを考えた計画を立てて活動する。 学級の全員や他の係に協力を依頼し、みんなの意見をよく聞いて取り入れる。 記録や反省をもとにして、実践の振り返りをし、仕事を内容を改善する。						
運営	教室環境係 レクレーション係 保健係 イラスト係 学校行事係 飼育栽培係 集会係 学習係 新聞係						
係の例	集会の運営に進んで参加し、真剣に取組むことができる。 目的にふさわしい集会を考え、実践後の反省を生かすように努めることができる。						

<集会活動>

ね ら い	年間にわたって変化に富んだ、楽しい実施計画を立てる。 教師の助言によって、企画・準備・運営が児童の手でできるようになる。 全員参加のスタイルを守るようになる。 各人がよさを生かす態度で積極的に参加し、まとまりのある集会を運営する。						
	レクレーション的なもの（お楽しみ会・ゲーム集会・誕生会・6年生と仲良くする会・トランプ集会など） スポーツ的なもの（バスケットボール大会・サッカー大会・小運動会など） 文化・芸術的なもの（みんなで歌い演説する会・頭の体操集会など）						
運営	(2) 日常生活や学習への適応及び健康や安全に関するここと (16時間) 保護者のかかわりは、学校からの呼びかけに応じた、自主的な参画である。						

内 容 月 別	学級全員が取り組むこと 児童への働きかけ	計画委員が取り組むこと 保護者への働きかけ	練り合う場面 連携の対象として考えらる人材	全保護者がかかわること	学級委員又は一部の保護者がかかわること	
					心身ともに健康で安全な生活態度の形成	学校給食と望ましい食習慣の形成
4	学級生活の設計					
5					自転車の安全な乗り方 避難訓練	
6			図書資料の活用			

7		夏休みの計画			大人に近づくからだ		
9	2学期の生活設計	身の回りの整理・整頓					
10		相手の立場を考えて					
11	効果的な学習				目の健康		
12		冬休みの計画			かぜの予防		
1						おこづかいの使い方	
2						食べ物と栄養	
3		最上級生への自覚					
時数	3	3	2	1	5	1	1

NO. 1

題材		レッツゴー5年生 (内容(2)希望や目標をもって生きる態度の形成)					
目標	5年生らしい学級目標を決め、価値ある生活を送ることができる。						
	児童の活動	評価規準	保護者のかかわり	教師の働きかけ			
事前	アンケートを作る。 どんな学級にしたいかアンケートを書く。 アンケートを集計し、提示資料を作る。 計画委員会で話し合いの流れを確認する。	開・意・態 学級の一員としてみんなで目標を決めようとする。 思考・判断 よさをよりよく生かす目標を考える。 技能・表現 アンケートに自己の考えを書く。 知識・理解 アンケートの目的が分かる。提示資料を作成する。	学級の様子について話し合う。	計画委員とともに、アンケートを作成し、集計をし、提示資料を作る。			
本時	どんな学級にしたいか話し合う。 学級目標を決める。 個人目標を決める。	開・意・態 よりよい学級目標と個人目標を練り上げる。 思考・判断 自己の課題をよりよく改善する目標を練り上げる。 技能・表現 自己の考えを発表しよりよい改善の方法を考える。 知識・理解 目標を設定し、実践する方法を理解する。	保護者の思いを伝える。	小集団を作り、各自の考えを発表させ、班としての目標を練る。 班長に班の意見を発表させ、全体で話し合い練り上げる。 学級目標を受け個人目標を決める。			
事后	学級目標をクラスの前面に掲げる 個人目標にしたがって生活する。	開・意・態 学級目標と個人目標を実践しようとしている。 思考・判断 目標をよりよく生かす方法を考える。 技能・表現 目標に基づき、よろこびを見いだし実践する。 知識・理解 目標ある生活をすることの大切さが分かる。	個人目標を意識した生活をさせる。	計画委員で児童掲示用学級目標を作り、掲示する。 個人目標を書かせ、掲示(ファイル)する。			
練り合いのポイント							
自己の求める学級像を基に、みんなで話し合い学級目標を決め、努力する。（自己の求める学級像をカードに書き、まとめる）							

NO. 2

題材		男の子女の子 (内容(2)心身ともに健康で安全な生活態度の形成)					
目標	男女のからだの発達について正しく理解するとともに、心の変化に気づく。						
	児童の活動	評価規準	保護者のかかわり	教師の働きかけ			
事前	アンケートを作る。 男女のからだの変化と心の変化についてのアンケート調査を書く。 アンケートを集計し、提示資料とする。 計画委員会で話し合いの流れを確認する。	開・意・態 男女のからだと心の変化について関心がある。 思考・判断 男女のからだと心の変化について正しくを考える。 技能・表現 アンケートに考えを書き、提示資料を作成する。 知識・理解 アンケートの目的が分かり提示資料を作成する。	男女のからだと心の変化について話し合う。	計画委員とともに、アンケートを作成し、集計をし、提示資料を作る。	養護教諭		
本時	男女のからだの変化について話し合う。 男女の心の変化について話し合う。 男女の違いを認め合い、共に生活していく方法を考える。 全体で共有化する。	開・意・態 男女のからだや心の変化について関心をもち発表する。 思考・判断 男女の違いを認め合い共に生活する方法を考える。 技能・表現 自己の考えを発表しよりよい改善の方法を考える。 知識・理解 男女で認め合い、生活する方法を理解する。	アドバイザーとして参加する。	小集団で男女のからだや心の変化について話し合い、共に生活していく方法を考える。 班長が発表し全体で確認し合う。			
事后	男女の違いを認め合って、生活する。	開・意・態 男女の違いを認め合おうとする。 思考・判断 男女の違いを生かし生活する方法を考える。 技能・表現 男女の違いを認め、よろこびを見いだし生活する。 知識・理解 男女の違いを認め生活することの大切さが分かる。	男女の違いを認め合った行動をする。	全体で共有したことを実践できるようにする。 学級通信で話し合ったことを伝える。			
練り合いのポイント							
男女のからだや心の変化に気づき、互いに認め合い生活していく方法を考え、正しく行動する。（男女の変化についてカードでまとめ、全体で共有化する）							

NO. 3

題材	これで安心すばやいひなん (内容(2)心身ともに健康で安全な生活態度の形成)			
目標	災害から身を守るための知識を持ち、安全に、はやく避難できる。			
	児童の活動	評価規準	保護者のかかわり	教師の働きかけ
事前	避難訓練がなぜ必要なのかを調べる。 避難訓練の必要性について小黒板にまとめる。 計画委員会で話合いの流れを確認する。	閲・意・態 避難訓練の必要性について関心がある。 思考・判断 避難訓練の必要性について考える。 技能・表現 調べた結果をまとめること。 知識・理解 避難訓練の必要性が分かる。	避難訓練の必要性について話す。 消防関係の保護者	「避難訓練の大切さ」の話をしてもらえるように学級通信で知らせる。
本時	避難訓練の必要性について話し合う。 安全な避難の仕方について話し合う。 ・身体の守り方 ・避難の仕方 避難訓練の心構えをまとめる。	閲・意・態 安全な避難の仕方に関心がある。 思考・判断 安全な避難の仕方を考え、正しく判断する。 技能・表現 自己の考えを発表しよりよい避難の方法を考える。 知識・理解 避難訓練の必要性と仕方について理解する。	避難訓練の必要性について話す。	保護者の方をアドバイザーとして来てもらう。 避難訓練の必要性について練り合い、実践への意欲を高める。
事后	学校の避難訓練で実践する。	閲・意・態 避難訓練に関心があり、意欲的に取り組む。 思考・判断 常に緊急事態を想定して避難の方法を考える。 技能・表現 避難訓練の学習の成果を生かし実践する。 知識・理解 自分の命を守るために、避難訓練の必要性が分かる。		避難訓練で真剣に取り組むようにする。

練り合いのポイント

自分の命を守る避難訓練の大切さを知り、よりよい避難の仕方を考え実践する。 (避難訓練の心構えをウェビングで表現する。)

NO. 4

題材	相手の立場を考えて (内容(2)望ましい人間関係の育成)			
目標	悪い言葉や相手を傷つける言葉をつつしみ、相手の立場になって行動できる。			
	児童の活動	評価規準	保護者のかかわり	教師の働きかけ
事前	アンケートを作る。 言われて嬉しい言葉、いやな言葉のアンケートを書く。 アンケートを集計し、提示資料を作る。 計画委員会で話合いの流れを確認する。	閲・意・態 自分や友達の言葉遣いに関心がある。 思考・判断 言われて嬉しい言葉、いやな言葉を考える。 技能・表現 アンケートに自己の考えを書く。 提示資料を作る。 知識・理解 アンケートの目的が分かる。提示資料作成の手順が分かる。	アンケートに答える。 提示資料を作成する。	家庭で気になる言動を保護者の方にアンケートをとつてもらい提示資料にしてもらう。 計画委員会の児童とアンケートを作成し、集計し提案資料とする。
本時	アンケートをもとにリレー物語を作り、発表する。 けんかの場面のリレー物語を見て、けんかの解決策を自分なりにまとめる。 小集団で解決策を話合い、発表する。	閲・意・態 言動について話合うことに関心がある。 思考・判断 リレー物語を発表しよりよい改善の方法を考える。 技能・表現 リレー物語を見て解決策を考え、表現する。 知識・理解 言葉遣いが原因のけんかの解決策が分かる。	アンケートをもとにリレー物語を作り、発表する。	保護者の方にもリレー物語を作ってもらい、発表してもらう。 各自リレー物語の解決策を考える。 小集団で解決策を練り合う。
事后	言葉遣いに気を付けて生活する。	閲・意・態 言葉遣いに関心をもち生活しようとする。 思考・判断 相手の立場に合う言葉遣いについて考えている。 技能・表現 相手の立場に合った言動ができる。 知識・理解 相手の立場にあった言葉遣いの大切さが分かる。	言葉遣いに気を付けて生活させる。	学習の成果を実生活で生かせるよう働きかける。

練り合いのポイント

けんかの場面からよいよい解決の方法を考え、実践する。 (各自の解決策をワークシートに書き、小集団で解決策をまとめる)

NO. 5

題材	生かせ資料 (内容(2)学校図書館の利用)			
目標	課題解決のために図書室を積極的に利用できるようにする。			
	児童の活動	評価規準	保護者のかかわり	教師の働きかけ
事前	これまでの図書館資料の活用の仕方を振り返り、良かった点、改善したい点をまとめる。	閲・意・態 図書館資料の利用の仕方に関心がある。 思考・判断 図書館資料の利用で良かった点、改善したい点を考える。 技能・表現 図書館資料の利用で良かった点、改善したい点をまとめる。	学校図書館なり公民館などの図書館施設を借りて一緒に利用する。 図書館関係の保護者	計画委員の児童と図書の貸し出し状況を調べ、分野別に整理する。

	計画委員会で話合いの流れを確認する。	とめる。 知識・理解 自己のこれまでの図書館資料の利用状況に気づく。		図書館司書
本時	数名の児童による図書館資料の利用の仕方の発表。 よりよい図書館資料の利用の仕方を小集団で話し合う。 小集団でまとまったことを全体で紹介し合う。	関・意・態 図書館資料の利用について話合うことに関心がある。 思考・判断 よりよい図書館資料の利用の仕方を考える。 技能・表現 図書館資料のよりよい利用の仕方を発表し合う。 知識・理解 よりよい図書館資料の利用の仕方が分かる。	図書館資料の効果的利用法について話す。	保護者(図書館関係の仕事をしている保護者がいればなおよい)と連絡を取っておく。 図書館資料をよく利用している児童に発表させる。 よりよい図書館資料の利用の方法を練り合う。
事後	実際に図書館資料を使って練習する。	関・意・態 図書館資料を利用しようとする。 思考・判断 図書館資料の利用について考える。 技能・表現 図書館資料の利用に喜びを見出し積極的に活用する。 知識・理解 図書館資料の利用の大切さが分かる。		その時点の各教科、道徳、総合的な学習の時間で実践する。
練り合いのポイント				
学校図書館の利用の仕方を紹介し合い、よりよい利用の仕方を考え、実践する。(カードに書き、まとめ共有化する)				

NO. 6

題材 身の回りスッキリ (内容(2)基本的生活習慣の形成)				
目標	整理・整頓することの大切さを理解し、身の回りの整理・整頓の仕方を工夫する。			
	児童の活動	評価規準	保護者のかかわり	教師の働きかけ
事前	整理・整頓ができているか振り返る。 計画委員会で話合いの流れを確認する。	関・意・態 整理・整頓に関心がある。 思考・判断 自分の整理・整頓振り返り、考え る。 技能・表現 整理・整頓することの大切さを考 え判断する。 知識・理解 整理・整頓の大切さに気づく。	家庭で整理・整頓について話し合いアンケートの答える。	学級通信などで整理整頓について話してもらおうように伝え、アンケートに協力してもらう。 整理・整頓の実態を知り、整理・整頓の大切さに気づかせるようにする。
本時	整理・整頓することの大切さを話し合つ。学級を見わたし、整理・整頓した方がよい場所をさがす。 小集団で、各場所の整理・整頓の計画を話し合う。	関・意・態 学級の整理・整頓に関心がある。 思考・判断 よりよい整理・整頓の仕方を考え る。 技能・表現 整理・整頓の大切さを発表し合い、 計画を立てる。 知識・理解 整理・整頓の仕方が分かる。	アンケートをもとに整理・整頓に関する保護者の願いを伝える。	整理・整頓されている教室とされていない教室の視聴覚資料を提示する。
事後	計画に従って実践する。	関・意・態 教室の整理・整頓に心がけようと する。 思考・判断 教室の整理・整頓の日常化につい て考える。 技能・表現 学級の整理・整頓について積極的 に取り組む。 知識・理解 学級の整理・整頓の日常化の大切 さが分かる。	整理・整頓の日常生活を図る。	整理・整頓の日常生活を図る。
練り合いのポイント				
整理・整頓することの大切さを知り、各場所の整理・整頓の仕方を考え、実践する。(小集団ごとに計画書を作成する)				

NO. 7

題材 マネープラン (内容(2)その他)				
目標	貯金の必要性を知り、お小遣いを計画的に使えるようにする。			
	児童の活動	評価規準	保護者のかかわり	教師の働きかけ
事前	アンケートを作る。 お小遣いをどのように使っているかのアンケート調査をする。 提示資料を作る。 計画委員会で話合いの流れを確認する。	関・意・態 お小遣いの使い方に関心がある。 思考・判断 自分のお小遣いの使い方を振り返り考える。 技能・表現 お小遣いの使い方を振り返りアンケートにまとめる。 知識・理解 自己のこれまでのお小遣いの使い方に気づく。	お小遣いの使い方について話し合う。	学級通信でお小遣いの使い方について話し合ってもらうように伝える。 計画委員の児童とアンケートを作り、提示資料を作る。
本時	各自のお小遣いの使い方に意見交換をする。 貯金の大切さについて話し合う。 計画的に使うことの大切さについて話し合う。	関・意・態 みんなのお小遣いの使い方に関心 がある。 思考・判断 よりよいお小遣いの使い方を考え る。 技能・表現 貯金のことを考え、お小遣いの使 い方を発表し合う。 知識・理解 よりよいお小遣いの使い方が分か る。	貯金の大切さや計画的に使 うことの大切さについて話す。	家計簿やお小遣い帳など を参考にして考る。
事後	お小遣いを計画的に使う。	関・意・態 お小遣いを計画的に使おうとす る。 思考・判断 日常生活における小遣いの使い方 について考える。 技能・表現 日常生活においてお小遣いを計画	簡単なお小 遣い帳を付け せる。	その後のお小遣いの使い方について、親と児童の意見を確認する。

		的に使う。 知識・理解 お小遣いのよりよい使い方が分かる。	
練り合いのポイント			
お小遣いの使い方について話し合い、貯金のことも考え、計画的に使えるようになる。(貯金の大切さ、計画的につかうことの大切さを自由な発想でカードに書きまとめる)			

NO. 8

題材	グッドな夏休みに (内容(2) 基本的な生活習慣の形成)		
目標	楽しい夏休みを送るための生活設計ができる。		
	児童の活動	評価規準	保護者のかかわり 教師の働きかけ
事前	「夏休みの生活」を読み、夏休みの意義や内容を理解する。 計画委員会で話合いの流れを確認する。	開・意・態 「夏休みの生活」を読もうとする。 思考・判断 夏休みの意義や内容を考える。 技能・表現 「夏休みの生活」に喜びを見出し読み。 知識・理解 「夏休みの生活」の内容が分かる。	「夏休みの生活」を読み、感想を書く。 保護者の感想をまとめる提案資料を作る。 事前に生徒指導部から出される「夏休みの生活」を配布する。 保護者の感想をまとめ、話合いに反映させる。 計画委員会で話合いの柱を決める。
本時	夏休みの学級目標について話し合う。 ： 生活面 ・ 学習面 班でまとめたことを全体で紹介し合う。 全体目標を決める。 各自の計画を立てる。	開・意・態 夏休みの学級目標をみんなで決めようと/orする。 思考・判断 より充実した夏休みを考え、判断する。 技能・表現 学級の目標を発表したり、各自の計画を立てる。 知識・理解 学級の目標と個人の目標をよりよく実践する方法を理解する。	アドバイザーとして参加する。 保護者にアドバイザーとして参加してもらう。 これまでの生活や学習を振り返り夏休みの重点を決める。 個人目標は、自分で改善したい点を重点にさせる。
事後	楽しい夏休みとなるように計画に沿って実践する。	開・意・態 夏休みの生活に関心をもつ。 思考・判断 よりよい夏休みについて考える。 技能・表現 夏休みに喜びを見出し、よりよく生きる。 知識・理解 楽しく充実した夏休みの生活の大切さが分かる。	計画に従って生活できるよう働きかける。 登校日に夏休みの生活を振り返らせる。
練り合いのポイント			
充実した楽しい夏休みを送るための生活を計画し、実践する。 (プレーンストーミングで生活面・学習面・身体面の考え方をだし、まとめる)			

NO. 9

題材	2学期のライフスタイル (内容(2) 希望や目標をもって生きる態度の形成)		
目標	夏休みを反省し、充実した2学期を設計することができる。		
	児童の活動	評価規準	保護者のかかわり 教師の働きかけ
事前	夏休みを振り返り、目標が達成されたか考える。 1学期を振り返り、目標が達成されたか考える。 計画委員会で話合いの流れを確認する。 学級目標について考え、見直す。	開・意・態 これまでの目標を振り返り、改善しようと/orする。 思考・判断 よさをよりよく生かす目標を考える。 技能・表現 自己を振り返り、よりよく判断する。 知識・理解 自己を振り返り新たな目標が見つかる。	児童の様子から1学期と夏休みの生活について感想を書く。 1学期と夏休みの振り返りをさせ、2学期の生活によりよく生かすようにさせる。 保護者の方に1学期と夏休みの生活について感想を書いてもらう。
本時	学級目標について考え、見直す点を発表する。 学級目標を決める。 個人目標を決める。	開・意・態 よりよい学級目標と個人目標を練り上げる。 思考・判断 自己の課題をよりよく改善する目標を練り上げる。 技能・表現 自己の考えを発表しよりよい改善の方法を考える。 知識・理解 目標を設定し、実践する方法を理解する。	学級目標を考える。 保護者の立場からも意見を出してもらうようにする。
事後	学級目標をクラスの前面に掲げる 個人目標にしたがって生活する。	開・意・態 学級目標と個人目標を実践しようとしている。 思考・判断 目標をよりよく生かす方法を考えている。 技能・表現 目標に基づき、よろこびを見だし実践する。 知識・理解 目標ある生活をすることの大切さが分かる。	保護者たよりに学級目標決定までのことを載せる。 計画委員の児童と学級目標を書き揭示する。 個人目標を掲示させる。
練り合いのポイント			
自己の求める学級像をもとに、みんなで話し合い学級目標を決め、努力する。(各自の考え方をカードに書き、まとめていく)			

NO. 10

題材	これで安全自転車でゴー (内容(2) 心身ともに健康で安全な生活態度の形成)		
目標	自転車の構造・点検の仕方を理解し、安全な乗り方ができる。		

標	児童の活動	評価規準	保護者のかかわり	教師の働きかけ
事前	自転車の安全な乗り方について調べる。 計画委員会で話し合いの流れについて確認する。自転車の安全な乗り方について小黒板にまとめる。	【問・意・態】自転車に関心があり調べようとする。 【思考・判断】自転車の安全な乗り方を調べ、考える。 【技能・表現】調べた結果をまとめることができること。 【知識・理解】自転車の安全な乗り方の必要性が分かる。	自転車の構造や乗り方について教える。 警察官、自転車修理店	保護者の方に自転車の乗り方の指導をお願いする。 自転車の乗り方と構造のマニュアルを用意しておく。 必要に応じて保護者と連絡を取り合う。
本時	自転車の点検の仕方についてかかる 自転車の安全な乗り方について話し合う。	【問・意・態】自転車の安全な乗り方に関心がある。 【思考・判断】安全な自転車の乗り方を考え、正しく判断する。 【技能・表現】自己の考えを発表し合い、自転車の乗り方を考える。 【知識・理解】安全な自転車の乗り方について理解する。	自転車の専門家として話をする。 必要に応じてアドバイスをする。	保護者に専門家がいれば保護者んいお願いいなければ教師が自転車の点検の仕方について教る。 調べたことや教えられたことを基に話合わせる。
事后	日常生活で実践する。	【問・意・態】安全な自転車の乗り方をしようとする。 【思考・判断】常に落ち着いて判断し、安全な乗り方を考える。 【技能・表現】日常生活で実践する。 【知識・理解】自分の命を守る安全な自転車の乗り方が分かる。	自転車の安全な乗り方について日常化を図る。	学級便りで自転車の安全な乗り方について知らせる。 連休や長期の休みの前に、自転車の安全な乗り方の確認をする。
練り合いのポイント				
自分の命を守る安全な自転車の乗り方の大切さを知り、よりよい自転車の乗り方を実践する。(自転車の安全な乗り方にについてカードに書いてまとめる)				

NO. 11

題材	ヘルシーな目 (内容(2)心身ともに健康で安全な生活態度の形成)			
目標	近視の原因を知り、健康な目を保っていく方法を考えて、実践できる。			
	児童の活動	評価規準	保護者のかかわり	教師の働きかけ
事前	アンケートを作る。 近視について調べる。 目の健康について調べる。 アンケート調査に答える。 計画委員会で話し合いの流れについて確認する。	【問・意・態】目の健康に関心がある。 【思考・判断】目の健康や近視について考える。 【技能・表現】アンケートに考えを書き提示資料を作成する。 【知識・理解】アンケートの目的が分かり提示資料を作成する。	目の健康について児童と話し合う。 医師、看護士	計画委員の児童とアンケートを作り、提示資料を作成する。 養護教諭 校医
本時	近視について理解する。 近視の原因について話し合う。 健康な目を保っていく方法を話し合い、目標を立てる。 姿勢・日常生活個人で努力目標を立てる。	【問・意・態】目の健康に関心をもち発表する。 【思考・判断】互いのよさを認め合い、目の健康について考える。 【技能・表現】自己の考えを発表し目の健康づくりに喜びをもつ。 【知識・理解】目の健康について理解する。	近視や目の健康について話す。	保護者に目の健康に詳しい人がいれば話してもらう。
事后	目標に従って、生活できるようにする。	【問・意・態】目標に従って生活しようとしている。 【思考・判断】日常的に目の健康ことを考えている。 【技能・表現】目の健康のことを考えよりよく生活する。 【知識・理解】目の大切さが分かり、日常考えて生活する。	児童の目の管理に気を配る。	視力検査などを実施し、目の健康の日常化を図る。
練り合いのポイント				
目の健康について考え、話し合い、日常化を図る。(ブレーンストーミング方式で姿勢と日常生活での考えを一人ずつ発表する)				

NO. 12

題材	かぜの予防 (内容(2)心身ともに健康で安全な生活態度の形成)			
目標	かぜの予防を知り、日常生活の中で実践することができる。			
	児童の活動	評価規準	保護者のかかわり	教師の働きかけ
事前	かぜの症状や原因について調べる。 かぜの予防について調べる。 かぜの症状、原因や予防についてカードに書く。 計画委員会で話し合いの流れについて確認する。	【問・意・態】かぜの症状や予防に関心がある。 【思考・判断】かぜの症状や予防について考える。 【技能・表現】かぜの症状や予防についてまとめる。 【知識・理解】かぜの症状や予防が分かる。	かぜの予防について児童と話し合う。 医師、看護士	養護教諭 校医
本	かぜの症状について話し合う。 かぜの原因について話し合う。	【問・意・態】かぜ予防に関心をもち話し合おうとする。 【思考・判断】かぜの予防方法を考える。	かぜの予防について話す。	保護者にかぜの予防に詳しい人がいれば話してもらう。

時	予防方法を話し合う。 個人目標を立てる。	技能・表現 自己の考えを発表し目標を立てる。 知識・理解 かぜの原因やかぜ予防について理解する。		かぜの予防について児童に練らせる。
事後	かぜ予防を意識して、生活できるようにする。	開・意・態 目標に従って生活しようとしている。 思考・判断 日常的にかぜ予防のことを考えている。 技能・表現 かぜの予防のことを考えよりよく生活する。 知識・理解 かぜ予防の大切さが分かり、日常考えて生活する。	かぜの予防方法を実践させる。	かぜ予防の日常化を図る。
練り合いのポイント				
かぜの予防方法について話合い、日常化を図る。（かぜの予防についてカードに書き、まとめる）				

NO. 13

題材	100点勉強法 (内容(2)希望や目標をもって生きる態度の形成)			
目標	苦手な教科の原因を考え、克服するために自分に合った学習計画を立てることができる。			
	児童の活動	評価規準	保護者のかかわり	教師の働きかけ
事前	アンケートを作る。 好きな教科・嫌いな教科のアンケートを書く。 なぜ好き・嫌いなのか理由を書く。 計画委員会で話合いの流れを確認する。	開・意・態 自分の学習の取組みを改善しようとする。 思考・判断 自分の学習を振り返り、よりよい方法を考える。 技能・表現 好き嫌いを判断し、アンケートに答える。 知識・理解 好き嫌いの理由が分かる。	児童の学習の取り組みについて意見を書く。	計画委員の児童とアンケートを作り、提示資料を作成する。
本時	各教科一名ずつ好きな教科の理由を聞く。 苦手な教科で班を作る。 なぜ苦手なのか話し合う。 苦手教科克服には、どうすればよいか話し合う。 自分に合った学習計画を立てる。	開・意・態 苦手教科を克服しようとする。 思考・判断 苦手教科を克服する方法を練り上げる。 技能・表現 自己の考えを発表し自分に合った方法を考える。 知識・理解 苦手教科の克服方法を理解する。	アドバイザーとして参加する。	保護者にアドバイザーとして参加してもらう。 苦手教科の克服のためどうすればよいか練り合う。
事後	個人の学習計画にしたがって生活する。	開・意・態 計画に従って実践しようとしている。 思考・判断 日常化に向けて考えている。 技能・表現 日常化に向けて努力する。 知識・理解 自分に合った計画で実践する大切さが分かる。	保護者として協力できることはする。	自主的にできるように働きかける。
練り合いのポイント				
友達と話し合うなかで、自分に合った学習方法を見つけ出し実践する。（ブレーンストーミングで意見を出し合い、自分にあった学習法を生み出す）				

NO. 14

題材	ホワイトな冬休みに (内容(2)基本的な生活習慣の形成)			
目標	昨年の冬休みを振り返り、充実した冬休みを送るための計画を立て、実践できる。			
	児童の活動	評価規準	保護者のかかわり	教師の働きかけ
事前	昨年の冬休みを振り返る。 「冬休みの生活」を読み、冬休みの意義や内容を理解する。 計画委員会で話合いの流れを確認する。	開・意・態 昨年の冬休みを振り返りよりよく生がそうとする。 思考・判断 冬休みの意義や内容を考える。 技能・表現 「冬休みの生活」に喜びを見出しうる。 知識・理解 「冬休みの生活」の内容が分かる。	「冬休みの生活」を読み、感想を書く。 保護者の感想をまとめ、提案資料を作る。	事前に生徒指導部から出される「冬休みの生活」を配布する。 保護者の感想をまとめ、話合いに反映させる。 計画委員会で話合いの柱を決める。
本時	どんな冬休みにしたいか話し合う。 ・ 生活面 ・ 学習面 ・ 身体面 ・ 人との接し方 ・ 金体目標を決める。 各自の計画を立てる。	開・意・態 冬休みの学級目標をみんなで決めようとする。 思考・判断 より充実した冬休みを考え、判断する。 技能・表現 学級の目標を発表したり、各自の計画を立てる。 知識・理解 学級の目標と個人の目標をよりよく実践する方法を理解する。	アドバイザーとして参加する。	保護者にアドバイザーとして参加してもらう。 これまでの生活や学習を振り返り冬休みの重点を決める。 個人目標は、自分で改善したい点を重点にさせる。
事後	楽しい冬休みとなるように計画に沿って実践する。	開・意・態 冬休みの生活に関心をもつ。 思考・判断 よりよい冬休みについて考える。 技能・表現 冬休みに喜びを見出し、よりよく生活する。 知識・理解 楽しく充実した冬休みの生活の大切さが分かる。	計画に従って生活できるよう働きかける。	登校日に冬休みの生活を振り返らせる。
練り合いのポイント				
昨年の冬休みを振り返り、よくできたことを他にも生かし、計画を立て実践する。（ブレーンストーミングで生活面・学習面・身体面・人との接し方の考え方をだし、まとめる）				

NO. 15

題材	パワーアップ食べ物 (内容(2)基本的な生活習慣の形成)			
目標	栄養と成長の関係を理解し、バランスの良い食生活を送ることができるようとする。			
	児童の活動	評価規準	保護者のかかわり	教師の働きかけ
事前	栄養と成長の関係を調べる。 栄養と成長の関係について小黒板にまとめる。 計画委員会で話し合いの流れを確認する。	【開・意・態】 食べ物の栄養と成長に関心をもつ。 【思考・判断】 栄養と成長の関係を考える。 【技能・表現】 栄養と成長の関係についてまとめる。 【知識・理解】 栄養と成長の関係に気づく。	食べ物の栄養と成長について話し合う。	計画委員の児童と献立表の資料を作り、成長に関わっていることを示す提示資料とする。 栄養士
本時	献立表より栄養と成長のバランスに気づき、偏りなく食べることの大切さを考える。 ・ 万能や熟 ・ 血や肉 身体の調子を整える 偏食をなくす工夫を話し合う。 各自の目標を立てる。	【開・意・態】 偏食をなくす工夫を話し合おうとする。 【思考・判断】 偏食をなくす工夫を考える。 【技能・表現】 偏食をなくす工夫を発表し、各自の目標を立てる。 【知識・理解】 献立表の栄養のバランスに気づき、偏食をなくすことが身体の成長にとって大切なことが分かる。	栄養と成長の関係について話す。 各班に入り話し合いに参加する。	保護者に栄養と成長に詳しい人がいれば話してもらう。 偏食をなくす工夫を練り合う。
事后	目標に従って努力する。	【開・意・態】 何でも食べようとする。 【思考・判断】 身体の健康を思い偏食をなくすことを考える。 【技能・表現】 食生活に喜びを見出し、何でも食べる。 【知識・理解】 何でも食べることの大切さが分かる。	目標の日常化を図る。	学校給食で目標の実践化を図る。
練り合いのポイント				
何でも食べることのよさを知り、偏食をなくす工夫を考え、実践する。 (小黒板にまとめたものを、発表しあい、各自の目標を決める)				

NO. 16

題材	未来・そして6年生 (内容(2)望ましい人間関係の育成)			
目標	6年生の生活について見通しをもち、最上級生になる心の準備ができる。			
	児童の活動	評価規準	保護者のかかわり	教師の働きかけ
事前	アンケートを作る。 高学年としての1年間を反省する。 ・ 良かったこと ・ 不十分だったこと アンケートを取りまとめる。 計画委員会で話し合いの流れを確認する。	【開・意・態】 高学年としての生活に関心がある。 【思考・判断】 高学年としての1年間を振り返り考える。 【技能・表現】 アンケートに自己の考えを書き提示資料を作成する 【知識・理解】 アンケートの目的が分かる。提示資料を作成する。	どんな6年生になるか話し合う。	計画委員の児童とアンケートを考え、提示資料を作る。
本時	最上級生としてしなければならないことを話し合う。 ・ リーダーとして ・ 後輩への温かい思いやり 個人目標を立てる。	【開・意・態】 最上級生としての生活に関心がある。 【思考・判断】 最上級生としての心構えを考える。 【技能・表現】 最上級生としての6年生のよいよい行動をまねる。 【知識・理解】 最上級生としての振る舞い方が分かる。	保護者の思いを伝える。	保護者と連絡を取り、児童全体の前で思いを伝えてくれるよう連絡を取っておく。 最上級生としての心構えを練り合う。
事后	新たな希望を抱き生活する。	【開・意・態】 最上級生に関心をもち生活しようとする。 【思考・判断】 リーダーとして行動することを考える。 【技能・表現】 6年生を見習い行動する。 【知識・理解】 最上級生としての心構えが分かる。		卒業式の練習や式に率先して臨むなど意識付けを行う。
練り合いのポイント				
一年間を振り返るとともに、6年生の姿に学び、どんな6年生になりたいか目標を決めることができる。(「リーダー」「後輩への思いやり」という言葉から連想することをエッピングで表現する)				